

食 べ る こ と の 大 事 な は な し

栃木県摂食障害支援拠点病院の役割

専門的な治療が受けられる医療機関は限られているため、摂食障害に対応できる医療機関の拡大、地域連携を強化を目指しています

患者さんの早期発見と受診のサポート

相談窓口で摂食障害支援コーディネーターが医師と連携し対応

電話やインターネットで相談受付

このようなご相談受け付けます

「ご本人だけでなく、家族や支える方々からの相談」

「摂食障害患者の対応に悩んでいる医療従事者からの相談」

「摂食障害の可能性がある生徒に
対応する学校の養護教諭からの相談」

「摂食障害の患者さんおよびご家族の相談に
対応する保健師、福祉担当者からの相談」

その他

「医療機関、学校関係者等への研修の開催」

「診療に役立つ資料などの情報提供」

「医療機関との連携や、治療に関するサポート」

「行政機関と連携強化」

ご相談・お問い合わせ

栃木県摂食障害支援拠点病院
獨協医科大学 精神神経科内

tel.0282-87-2281

電話相談受付時間はホームページでご確認ください
通常の通話料金がかかります



栃木県摂食障害支援拠点病院サイト
<https://dept.dokkyomed.ac.jp/dep-m/edsupport>

摂食障害支援拠点病院では、全例を直接治療するわけではありません。
受診希望の方には、地域や症状に応じて適切と思われる医療機関をご案内します。



<https://www.dokkyomed.ac.jp>

体重や体型の
感じ方に
問題がある



心と体の
2つの
症状がある

食べることを
中心に色々な
問題が現れる

摂食障害ってなんだろう？

長く続いてしまう
ことがある

心と体への
適切な治療と
支援が必要



栃木県摂食障害
支援拠点病院
ご あ ん な い

心と体を大切にしながら 様々な症状をサポートします



例えば、太っていると思ってしまう

同じ悩みのひとは
いっぱいいるよ。

食べることや体重が怖くなってしまうのは、あなたが弱いかからじゃないよ。神経性やせ症は、心の不安が影響する病気。でも、あなたの体も心も、本当は栄養を必要としているよ。無理じゃなくていいから、少しずつ自分を大切にしてみよう。ひとりじゃないよ。

ゆっくりで大丈夫。

食べすぎてしまっても、自分を責めなくていいよ。神経性過食症は、ストレスや不安が関係している病気。食べた後に苦しくなることがあっても、あなたは決して悪くないよ。ゆっくりでいいから、安心できる人に気持ちを話してみてね。

それはわがままじゃない。

食べることが怖かったり、特定の食べ物を受けつけなかったりしても、それはわがままじゃないよ。味や食感、過去の経験などが影響して、食べることが難しくなる病気。でも、あなたに合った方法で少しずつ食べられるようになるよ。ひとりで悩まなくて大丈夫。あなたを理解し、支えてくれる人がいるからね。

例えば、「痩せなきゃ」と思い込んでしまう



例えば、食べすぎてしまう



例えば、特定のものが食べられない



ご心配に
相談くだ
さいら
自分のこと・大切な人のこと



お問い合わせはこちら

※外来診療や入院治療について調整に
お時間がかかる場合があることをご了承ください

さらに詳しい情報はこちら

摂食障害情報ポータルサイト

https://edcenter.ncnp.go.jp/edportal_general/